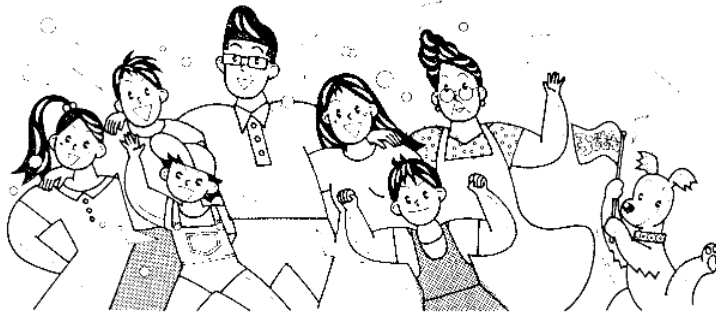


「子ども会のしおり」01
(初めて子ども会活動に参加する皆さんへ)

「子ども会」ってどんなところ —めざそう子どもの手による子ども会—

- 子ども会は
多様な活動を通じて
自ら考え自ら解決する能力を持つ子
他を思いやり、ともに育つ子
の成長を支えます。



愛知県子ども会連絡協議会

専門指導者会編集

子ども会は、こんな力を持った子どもに育ってほしいと願っています。
「子ども会の目指す子ども像」

「自分で生きる力」 （自己決定能力のある子）

自分で考え行動する子
自分で責任の取れる子
問題を乗り越えられる子

「ともに生きる力」 （人間関係能力のある子）

思いやりのある子・人の痛みがわかる子
仲間と行動できる子
国際的視野のある子

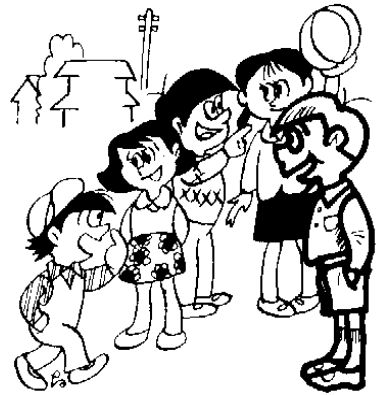
「心豊かに生きる」 （感受性、表現能力のある子）

感動のできる
自然を愛する子
命を大切にする子

子ども会は 幅広い年齢の子どもたちが協力し合って 学び成長する場です。

＝異年齢集団による学び合いの場＝

子ども会は、異なる年齢の仲間が集まって、遊びや、自主的活動を通じて、社会性、知的能力、情操、体力、創造性など、子どもの成長に不可欠なものを獲得することを目指しています。



「全員参加の役割分担の原則」を守りましょう

＝ 一人一人の席と役割をもとう ＝

活動の中心は単位子ども会です。

子どもたちが主体になり、役割を分担しながら活動を進めるためには、10人前後の班を作ることが秘訣です。

子どもが中心となって活動を進め、仲間とともに成長することができます。

会の運営も会則に基づいて子どもが中心となって進めます。

子どもの発想を生かし、 子ども自身が企画し実行する場です

子ども会は子どもたちの「生きる力」を育てる場所です
次の原則を守って活動できれば理想的です

1. 子ども自身が活動内容を選択する原則

ー子どもの計画ですすめようー

2. 新しい活動内容を生み出す原則

ー子どものアイデアを生かそうー

3. 企画立案するプロセスを重視する原則

ー子どもたちのどうしよう、こうしようを大切にしようー

自分たちで企画し運営する中で、壁に突き当たったり、失敗したりします。それをみんなで乗り越え成功させた体験は子どもの成長にとってかけがいのないものになります。



子ども会は、

地域全体・3世代が参加する活動です

家庭・地域・学校の支え、協力、愛情の中で子どもは育ちます。子どもの健全育成には、家庭、学校、地域が手を取り合うことが欠かせません。

子どもたちは、地域での活動を通して、自分が社会の中で生きていることを実感し、役割を果たすことによって、人としての成長や存在感を感じます。

親同士や、地域に住む人たちとの交流の場です

子ども会を通じて親同士の交流の場、地域に住む人たちの交流の場となります。

そのつながりが、子どもや家庭の孤立を防ぎ、安全につながります。

障害を持った人たちとの交流は人に優しい街を作ります。

3世代が交流できる場です

3世代が子どもを中心として生き生きと交流できる場である事が理想です。

地域の理解と協力が得られ、まわりのお父さん、お母さんが楽しく気軽に協力してもらえる活動にしましょう。

地域・ふるさとに根ざした活動です 子ども会活動を通じ

地域に対する見方を深め、郷土愛を育てます。

地域文化の伝承発展に参加する場

地域の学習を通し、郷土を愛する心を育てる場

地域の自然に触れ発見する場

となります



子ども会は 遊びを通じて成長する場 豊かな自然体験をする場です

子ども会は仲間と遊ぶことを活動の目的の1つにしています。

- ・遊びを通して様々なルールを学ぶ場
- ・コミュニケーションの能力を高める場
- ・創意工夫をする場

となります。

子ども会は豊かな自然体験を通して、

- ・感性を育て五感を鍛える場
- ・好奇心を高め自然について学
ぶ場

・心の安らぎを得る場
となります。



身近な自然に注目し活用しまし
よう。

子ども会はこんな事をします

=子ども会の活動=

子ども会は、その目的を達成するためにいろいろな活動を展開します。

1. 日常活動としての定例会

話し合い活動，定期的に行う地域の清掃活動など

2. 定期的・季節的行事

3. 知らせる活動（広報活動）

4. みんなで作り上げる行事活動

社会的なもの，文化的なもの，体育的のもの，その他

5. 交流活動

各種の研修会，三世代交流，国際交流など

6. 行事を安全に進めるための「安全教育」（KYT）

などがあります。

